

「2026 ワールドベースボールクラシック」 ホームタウンヒーロー・パブリックビューイング

第6回ワールドベースボールクラシックのパブリックビューイングを行います。荒川区出身の鈴木誠也選手が出場予定です。ぜひ、一緒に応援しましょう。

日時・内容 ▶ 3月 7日(出)午後6時50分から……予選リーグ・日本対韓国
 ▶ 3月15日(日)午前9時50分から……準々決勝 ※日本代表が進出した場合に実施

会場 荒川総合スポーツセンター1階イベントホール

対象 区内在住・在勤・在学・在園の方

定員 170人(抽選) **費用** 無料

申込み問合せ 2月21日(出)～3月1日(日)に荒川区ホームページ(右の二次元コード)で、荒川総合スポーツセンター☎(3802)3901



主催 荒川区 **共催** NetfliX

賃上げ

デジタル化

の設備投資支援等を拡充

区内企業の経営基盤強化のため、賃上げ・デジタル化を推進する企業に対し、設備投資の補助率や補助額を拡充します。補助条件等の詳細は、荒川区ホームページ(各記事の二次元コード)をご覧ください。

受付期間 2月24日(火)～3月31日(火)

「経済急変対応融資」の対象に外注費を追加

原油価格・物価高騰等の影響を受けている中小企業者等を支援する特別融資です。利便性の向上のため、利用対象に外注費を追加します。

資金用途 運転資金

融資限度額 1000万円

本人負担金利 0.3% (利子補給1.6%)

受付期間 3月31日(火)まで

商業・サービス業事業継続力強化支援事業補助金

商業・サービス業の中小企業が行う、社会構造の変革等に対応するために必要な設備投資等に対する補助金です。

▶ 賃上げを実施またはデジタル化を推進した場合
[補助率] 2分の1 [補助上限額] 200万円



製造業等企業価値向上支援事業補助金

製造業等の中小企業が行う、生産性向上やデジタル化推進等のための設備投資に対する補助金です。

▶ 賃上げを実施した場合
[補助率] 3分の2 [補助上限額] 200万円

▶ デジタル化を推進した場合
[補助上限額] 300万円



問合せ 経営支援課経営支援係 ☎内線459

もう一度考えてみよう

ふるさと納税と区税流出の関係

「ふるさと納税」は、自分の住んでいる自治体に納めるべき住民税の一部を、故郷や応援したい自治体に寄附できる制度です。

地域の名産品等の返礼品が受け取れることで知られていますが、この制度によって荒川区をはじめ、特別区全体の税収に大きな影響が出ています。

改めて、ふるさと納税制度を考えてみませんか。

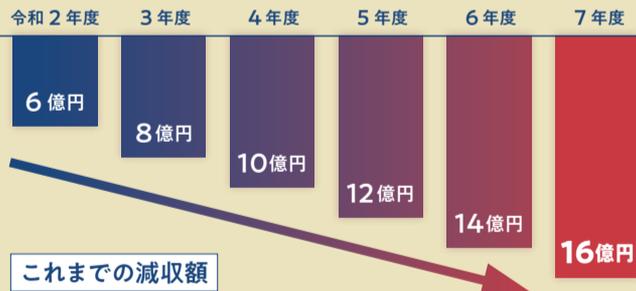
問合せ

広報課シティプロモーション担当
☎(3802)4340

多額の財源が流出しています

令和7年度は、「ふるさと納税」によって、約16億円の税が区から流出しました。これは、令和7年度に区に納税された

特別区民税のおよそ8%に相当し、区民サービスに例えると、おおむね、ふれあい館1館分の建設費用に相当します。



流出した16億円は、本来、区民の皆さんのために使われるはずだったお金です。減収額は年々増加しており、このまま減収が続くと、区民サービスの低下につながりかねません。

区の見解と取り組み

区は、地域の活性化等のふるさと納税本来の趣旨には賛同するものの、本来、国が負担すべき減収額が自治体に転嫁されている等、制度が抱える課題の抜本的な見直しを、特別区長会を通じて強く国に訴えてきました。今後も、受益と負担という地方税の原則や、寄附本来の趣旨

を踏まえた制度運用が行われるよう、強く要望していきます。

なお、区税の減収による影響は看過できない状況であるため、歳入を増やす工夫として、返礼品の提供を伴う寄附の受け入れを行っているほか、国や都の補助金の活用や事業の工夫により、限られた財源を最大限生かす財政運営に取り組んでいます。ご理解・ご協力をお願いします。